

■ 第 63 回火災科学セミナーの開催について ■

主 催 (公社)日本火災学会
後 援 全 国 消 防 長 会
横 浜 市 消 防 局
京 都 市 消 防 局

今年の1月1日に石川県の志賀町で最大震度7を記録した能登半島地震の発生によって、県内及び周辺各地に甚大な被害をもたらし、その後も日本各地で地震が頻発するなど、改めて震災への備えについて意識が高まっているところです。

そこで、発生から100年を経過した関東大震災の教訓を再認識することで、今後30年以内に70%の確率で発生すると予想されている首都直下地震に備え、震災の教訓を未来へ引き継いで行く必要があります。

また、36人が被害を受けた京都アニメーション放火火災から5年が経過し、火災発生時における避難行動について様々な場面を想定して、命を守るためにどうすべきか見識を深めておくことが重要です。

このような状況を踏まえ、日本火災学会では、横浜市と京都市において下記のとおり「火災科学セミナー」を開催することとなりました。

つきましては、会員の皆様はもとより、消防関係者、一般の方々も多数ご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

記

- 横浜会場：日時 2024年11月19日(火) 13時00分から17時00分まで
場所 横浜市開港記念会館 講堂(神奈川県横浜市中区本町1-6)
①みなとみらい線「日本大通り駅」1番出口から徒歩約1分、②JR京浜東北線・根岸線「関内駅」南口から徒歩約10分、③市営地下鉄線「関内駅」1番出口から徒歩約10分
- 京都会場：日時 2024年12月11日(水) 13時00分から17時00分まで
場所 立命館大学朱雀キャンパス 5階大講堂(京都府京都市中京区西ノ京朱雀町1)
①JR・地下鉄「二条駅」から徒歩約2分、②阪急京都線「大宮駅」から徒歩約10分

● 横浜会場 11月19日(火)			● 京都会場 12月11日(水)		
[主題] 関東大震災から学ぶ震災への備え、そして、未来への教訓			[主題] 「避難」について考える～火災から大切な命を守るために～		
時間	テーマ	講師	時間	テーマ	講師
13:15 ～14:15 (60分)	関東大震災と横浜消防の対応 —歴史学の視点から— 横浜都市発展記念館 主任調査研究員	吉田 律人 氏	13:15 ～14:15 (60分)	京都アニメーション火災の避難行動を 読み解く 富山大学 学術研究部 教育学系	教授 秋月 有紀 氏
14:25 ～15:25 (60分)	輪島市朝市通りの火災からみる 地震火災の延焼状況について 国土技術政策総合研究所 都市研究部 都市防災研究室 室長	岩見 達也 氏	14:15 ～14:30 (15分)	火災から命を守る避難の指針について 京都市消防局 予防部長	藤生 卓樹 氏
15:35 ～16:35 (60分)	近年の大規模災害からみる これからの地震火災対策 東京大学先端科学技術研究センター 教授	廣井 悠 氏	14:40 ～15:40 (60分)	火災危険をイメージして避難を考える ～避難訓練の調査を通じて～ 東京理科大学大学院 創域理工学研究科 国際火災科学専攻	教授 水野 雅之 氏
			15:50 ～16:50 (60分)	JAL機衝突事故18分の脱出劇 ～「奇跡」ではない成功の要因～ 筑波大学・神田外語大学 客員教授 警察大学校講師 Global Manner Springs 代表	江上 いずみ 氏

参加料(テキスト含む) : 会員、賛助会員 (当該団体に勤務する職員を含む。)、後援団体職員及び消防職員 3,000 円, 一般 (非会員) 5,000 円

申込方法 : 郵便払込による参加料の納入をもって申込受付とします。(郵便振込「払込取扱票」のご利用をお願いします。)

振替口座番号 00180-4-58454 (公社)日本火災学会

払込取扱票の通信欄に参加会場名, 勤務先名 (複数参加の場合, 参加者名) を記入してください。また, 払込人住所氏名欄には参加者氏名 (複数参加の場合は, 代表者名), 連絡先住所, 電話番号を記入してください。到着受付後, 受講票をお送りします。(領収書は, 当日会場でお渡しします。)

※ 口座振替 (銀行) を希望される場合は, 下記申込先へメールにてお知らせください。

申込先 : 〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル

(公社)日本火災学会 Tel : 03-3813-8308 Fax : 03-5689-3577 E-mail : kasai50@sepia.ocn.ne.jp